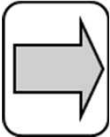


# 管内經濟情勢報告










令和 5 年 1 0 月  
財務省 四国 財務局

# 四国財務局管内経済情勢報告

	令和5年7月判断	令和5年10月判断	総括判断の要点	7月判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	<p>個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっているほか、観光も回復しつつあることから、全体としては持ち直している。</p> <p>生産活動は、電気機械が弱含んでいるものの、汎用・生産用機械が持ち直しているほか、食料品が持ち直しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p>	 (据え置き)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和5年7月判断	令和5年10月判断	7月判断との比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	

※ 5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

# 個人消費

## 個人消費 持ち直している

(据え置き)

- スーパーは、衣料品や身の回り品が順調であるほか、飲食料品が堅調であることから、全体としても堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、一部で弱い動きがみられるものの、飲料品や米飯類等が順調であることから、全体としては堅調となっている。

### 〔主なヒアリング結果〕

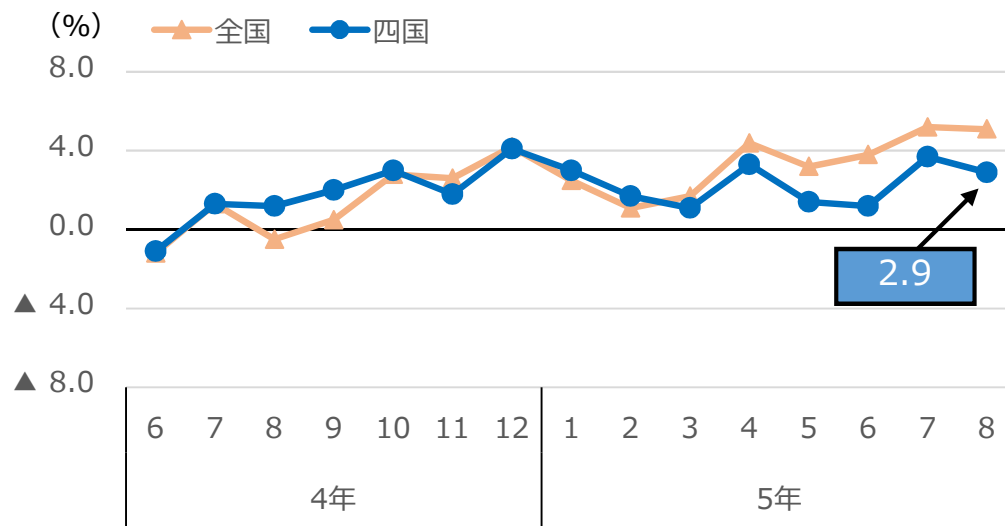
#### 「スーパー」

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うお出かけ需要が継続しており、夏物衣料やキャリーバッグ、化粧品などの売れ行きがよい。また、水着や浴衣といった季節商品の売上も好調。
- 中食需要の高まりなどから、総菜や冷凍食品の売上が好調。お盆時期などには、帰省や人が集まる機会の増加から寿司やオードブルなどの総菜が好調。

#### 「コンビニエンスストア」

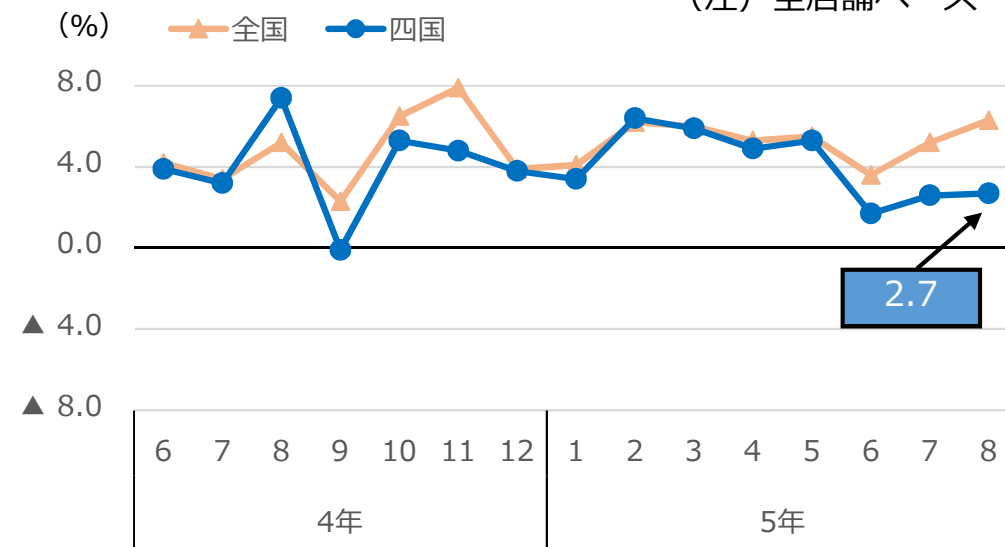
- 人流増加による来店客数の増加に伴って、おにぎりやペットボトル飲料などの売上が伸びている。
- インバウンドも含めた人流回復の影響で、宿泊施設周辺の店舗を中心にアルコール飲料やスナック菓子、総菜の売れ行きがよい。
- 気温高のため、麺類が思うように伸長しなかった。

## 〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



## 〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

# 個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品や化粧品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンや一部の高付加価値製品に動きがみられるものの、販売価格の上昇などから、全体としては弱含んでいる。
- ホームセンターは、エアコン等の季節商品や、行楽用品等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。

## 〔主なヒアリング結果〕

### 「ドラッグストア」

- 取扱いを強化している冷凍食品や生鮮食品の売れ行きがよい。

- 外出機会やマスクを外す機会が増加したことで、化粧品の売上が着実に回復傾向にある。

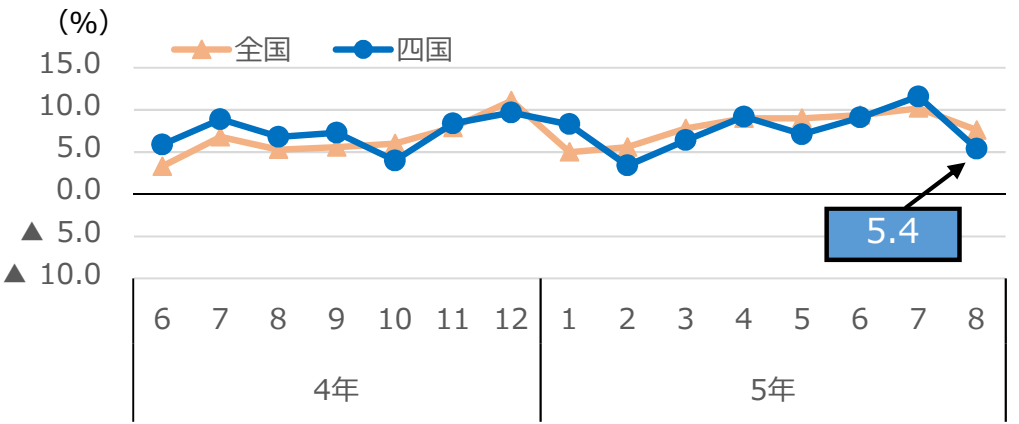
### 「家電大型専門店」

- エアコンの販売が大幅に増加したほか、家事負担軽減・タイムパフォーマンスに資する高付加価値製品が広く支持されているものの、販売価格の上昇などを背景に、幅広い品目で買い控えがみられる。

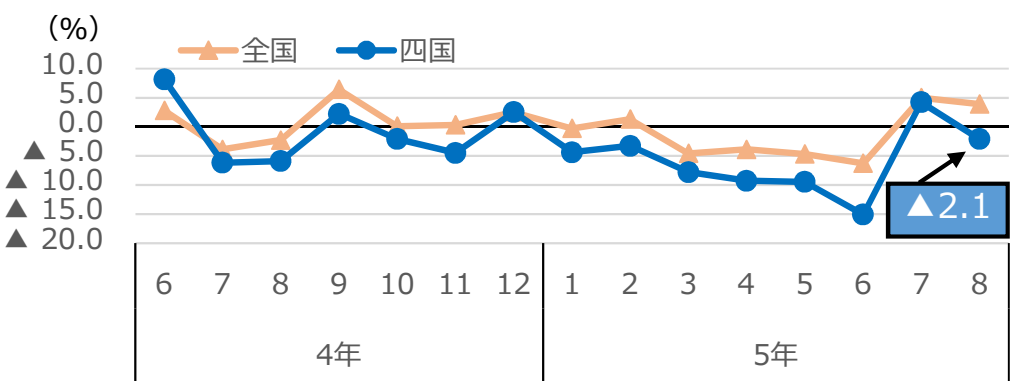
### 「ホームセンター」

- 気温が高く、扇風機やエアコン、すだれなどの季節商品の売上が大きく伸びた。
- 行楽需要の増加により、木炭やクーラーボックスなどの行楽用品が好調。

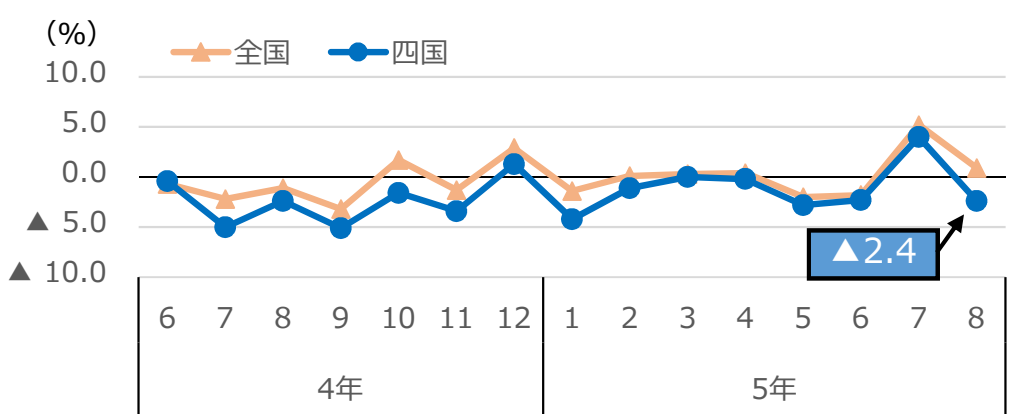
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



# 個人消費

- 百貨店は、衣料品や身の回り品、高額品等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を上回っている。
- 観光は、外国人観光客の増加により、回復しつつある。
- 国内旅行は、緩やかに回復しつつあり、海外旅行は、持ち直しの兆しがみられる。

## 〔主なヒアリング結果〕

### 「百貨店」

- 外出機会の増加などから、夏物衣料や身の回り品、化粧品が好調。また、高級時計についても一部ブランドの品薄が解消され売上好調。

### 「乗用車」

- 半導体不足の影響が落ち着き、生産が正常化しつつあることで、登録台数は増加している。

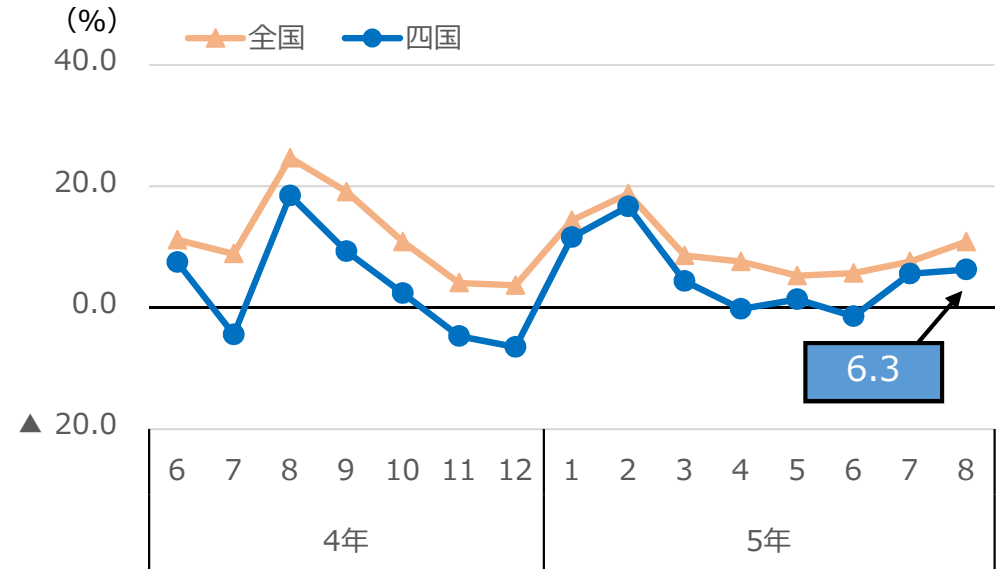
### 「観光」

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う観光需要の高まりや、円安の影響で、台湾や欧米からの外国人観光客が多くみられている。

### 「旅行」

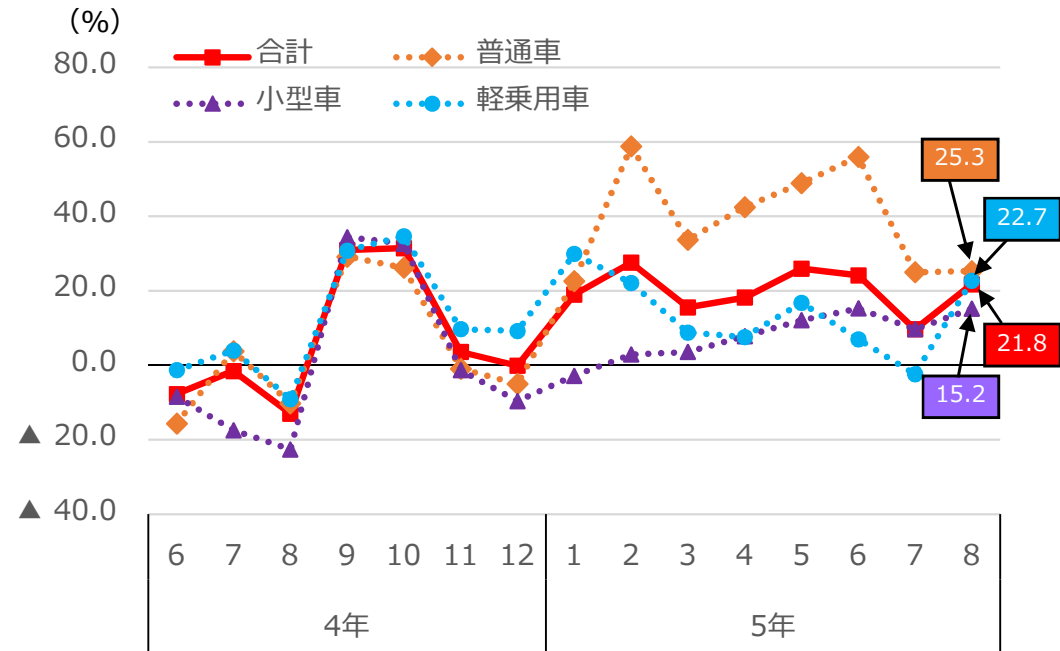
- 新型コロナウイルス感染症流行以前の人気エリアに需要が戻っているほか、団体旅行も増えており、国内旅行は好調である。

## 〔百貨店販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

## 〔四国の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】 四国運輸局の公表データから算出

# 生産活動

## 生産活動

### 一進一退の状況にある

(据え置き)

○汎用・生産用機械は、建設工事向けに動きがみられることから、持ち直している。食料品は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。電気機械は、電子部品に弱さがみられることから、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては一進一退の状況にある。

#### 〔主なヒアリング結果〕

##### 「汎用・生産用機械」

○公共工事や工場メンテナンスにより需要が増加している。

○前期までの部品調達難が解消され、生産量が回復している。

##### 「食料品」

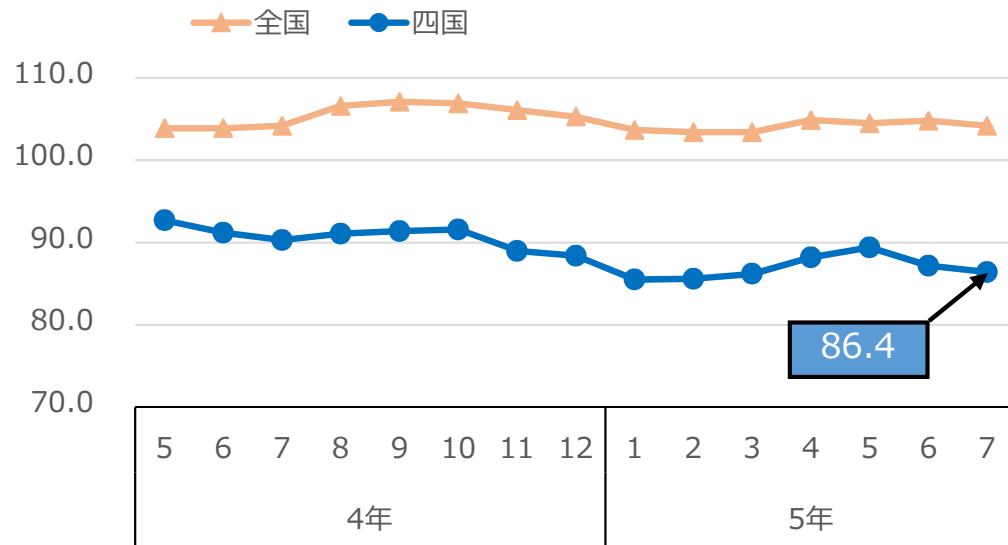
○冷凍食品は手軽さなどから人気が高く、受注状況は引き続き好調。

##### 「電気機械」

○スマートフォン向け電子部品について、引き続き中国での在庫調整や消費者の買い控えから、生産量が減少している。

## 〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕

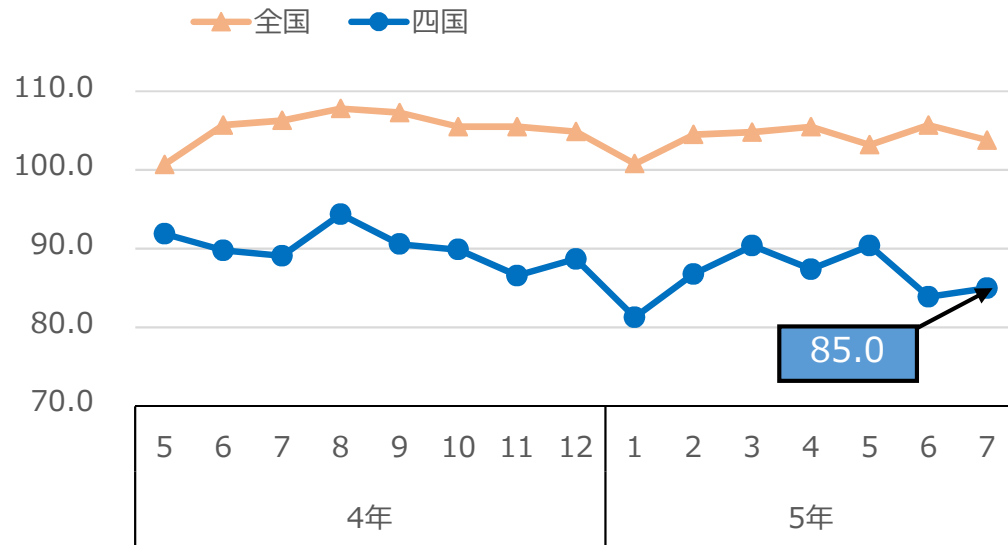
(四国：平成27年=100、全国：令和2年=100)



【出所】経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

## 〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕

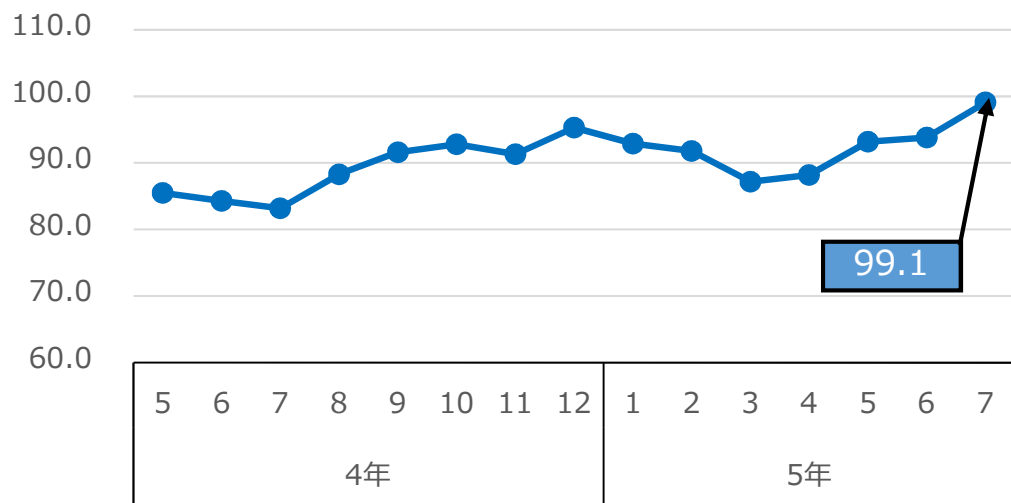
(四国：平成27年=100、全国：令和2年=100)



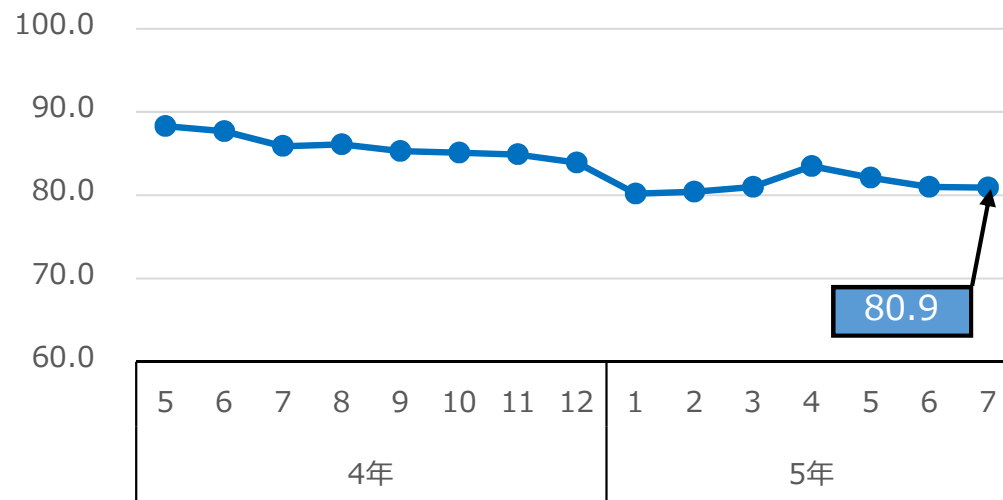
【出所】経済産業省、四国経済産業局

# 生産活動

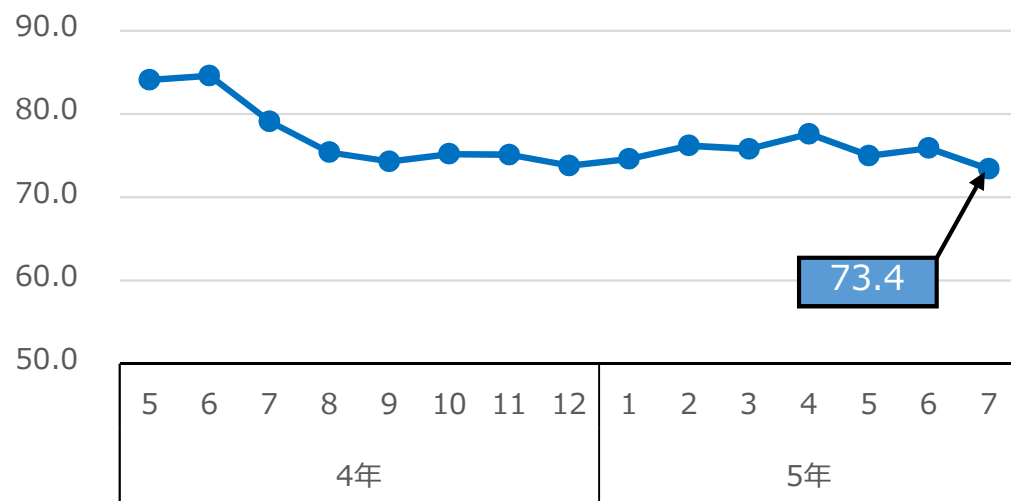
## 〔汎用・生産用機械〕



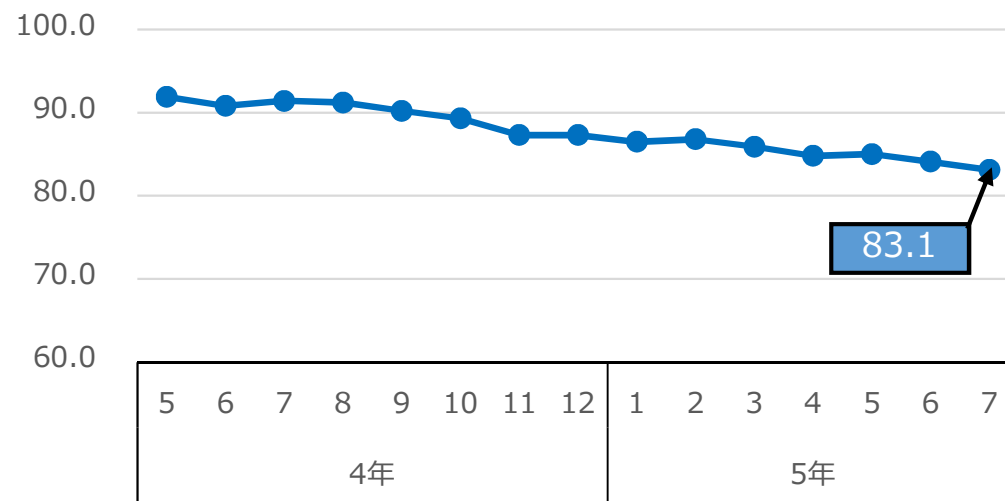
## 〔食料品〕



## 〔電気機械〕



## 〔パルプ・紙〕



# 雇用情勢

## 雇用情勢

緩やかに持ち直している

(4期連続据え置き)

- 有効求人倍率は横ばいとなっている。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、9月末は全産業で32.8%ポイントと「不足気味」超となっている。

### 〔主なヒアリング結果〕

#### 《労働局》

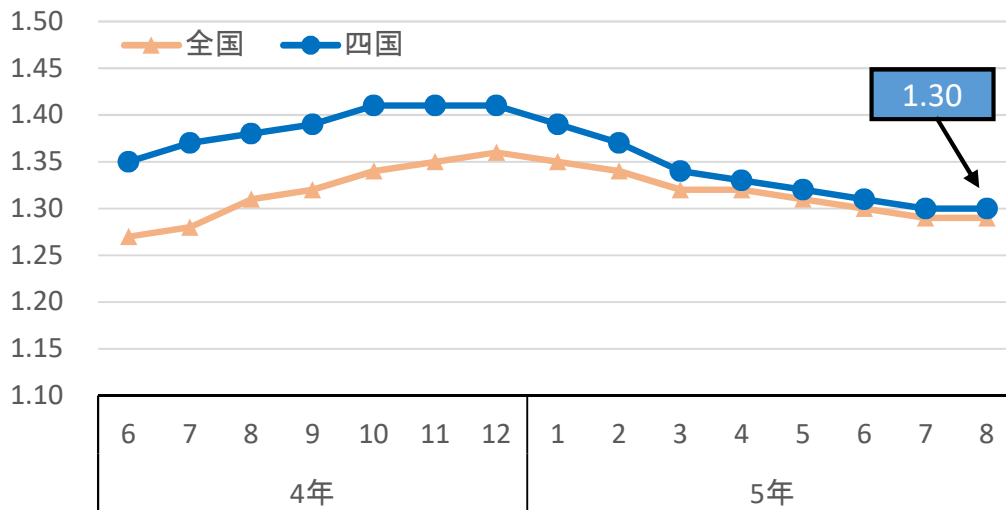
- 新規求人数の減少は、前年にイベント開催に伴う大型求人があった反動や求人提出時期のずれなどによるものが多く、様々な業種で人手不足感がある。
- 宿泊、飲食業では、引き続き観光客が増加していることなどにより求人が増加している。
- 運輸業では、慢性的な人手不足に加え、物流の2024年問題に備えた求人が増加している。

#### 《食料品製造業》

- 需要が好調のため新卒・中途ともに採用をしたいが、なかなか応募が集まらない。また、採用後の定着率も課題となっている。

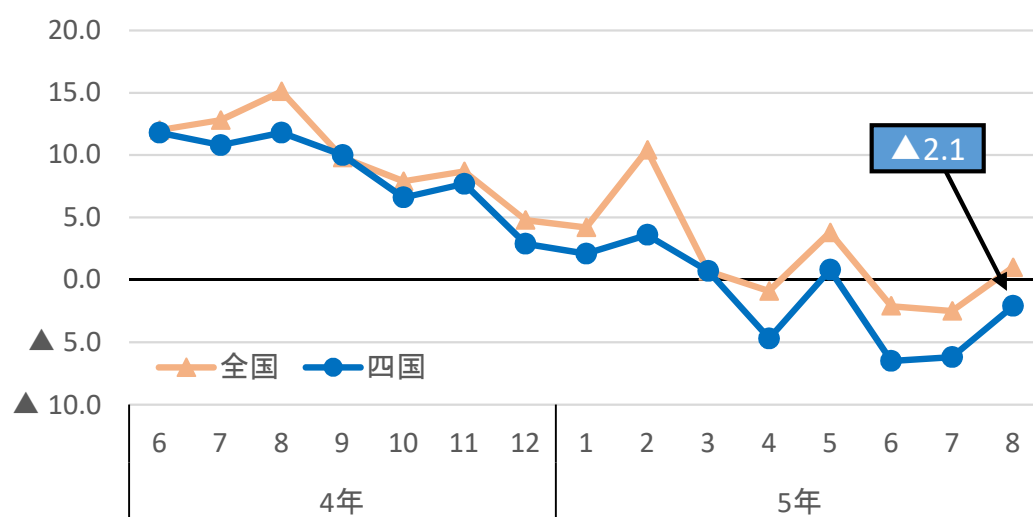
### 〔有効求人倍率（季節調整値）〕

(倍)



### 〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕

(%)



【出所】厚生労働省の公表データから算出



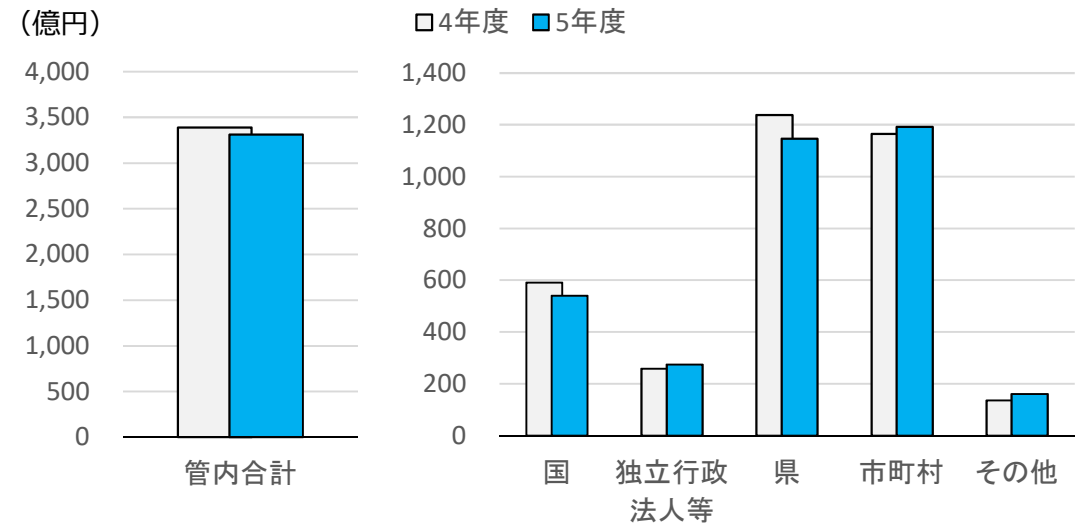
# 公共事業・住宅建設

## 公共事業

### 前年度を下回っている

○前払金保証請負金額で見ると、独立行政法人等及び市町村は前年度を上回っているものの、国及び県は前年度を下回っていることから、全体としても前年度を下回っている。

## 〔四国の公共工事前払金保証請負金額（9月累計額）〕



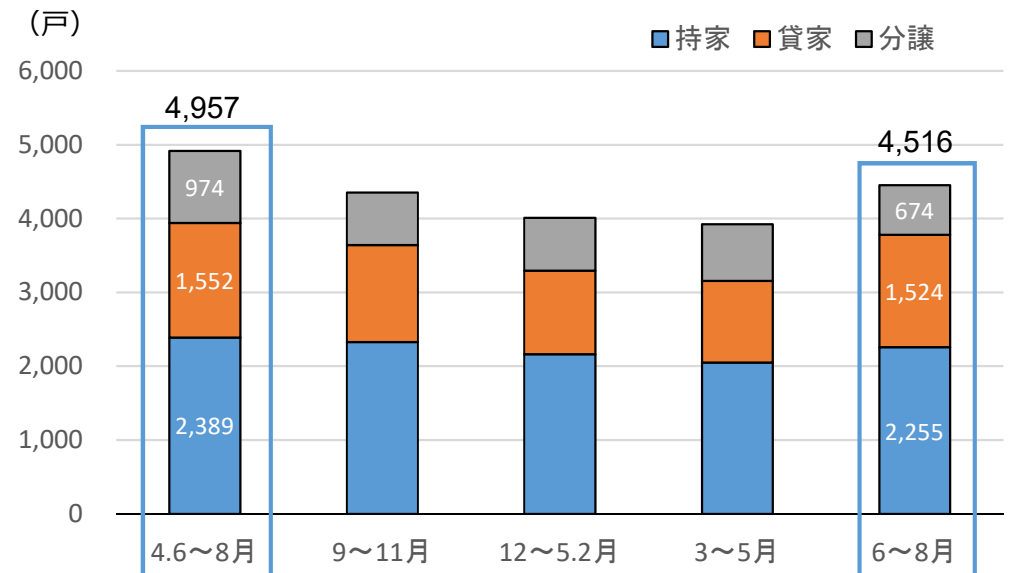
【出所】西日本建設業保証（株）等

## 住宅建設

### 前年を下回っている

○新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年を下回っている。

## 〔四国の新設住宅着工戸数〕



### 〔主なヒアリング結果〕

○資材価格上昇による住宅価格の値上がりなどによって、住宅購入のマインドが低下している。

※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

# 設備投資・企業収益・企業の景況感

## 設備投資

### 5年度は前年度を上回る見込み

○5年度の「設備投資」は、製造業及び非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。

## 企業収益

### 5年度は減益見込み

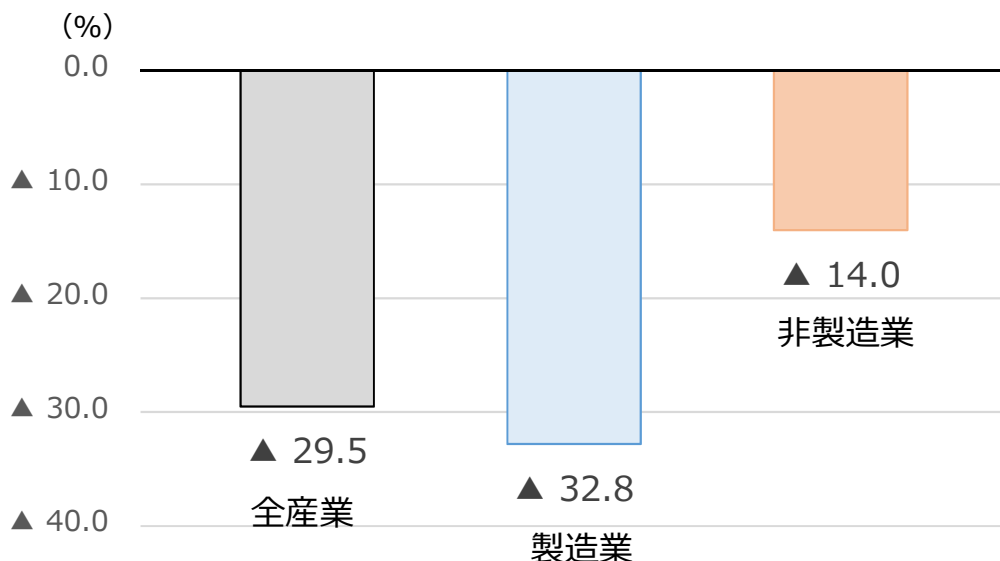
○5年度の「経常利益」は、製造業及び非製造業で減益見込みとなっており、全体としても減益見込みとなっている。

## 企業の景況感

### 「上昇」超

○5年7～9月期は、製造業で「下降」超となっているものの、非製造業で「上昇」超となっており、全体としても「上昇」超となっている。

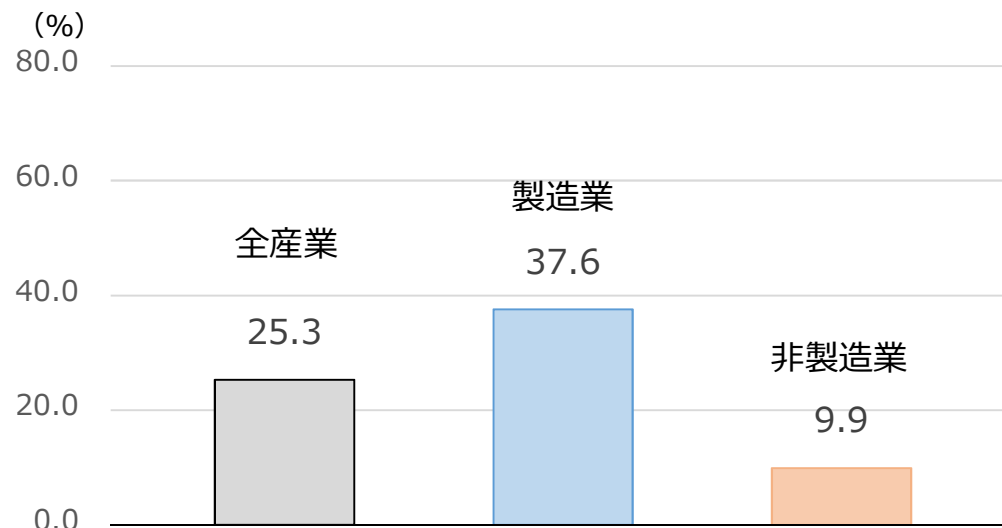
### 〔経常利益（四国、前年度比）〕



※5年7～9月期調査の結果

※「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本社が所在する企業

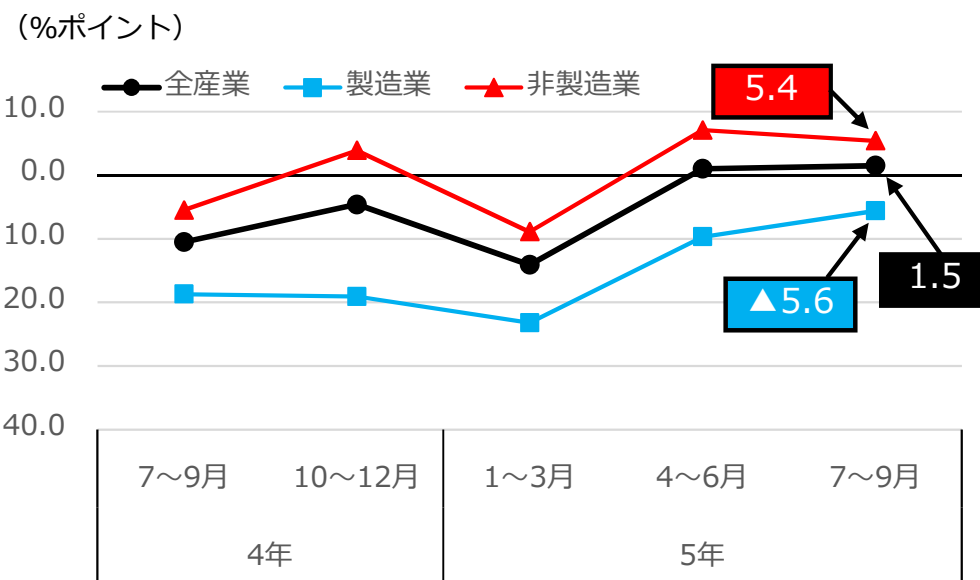
### 〔設備投資（四国、前年度比）〕



※5年7～9月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

### 〔企業の景況判断BSI（四国）〕



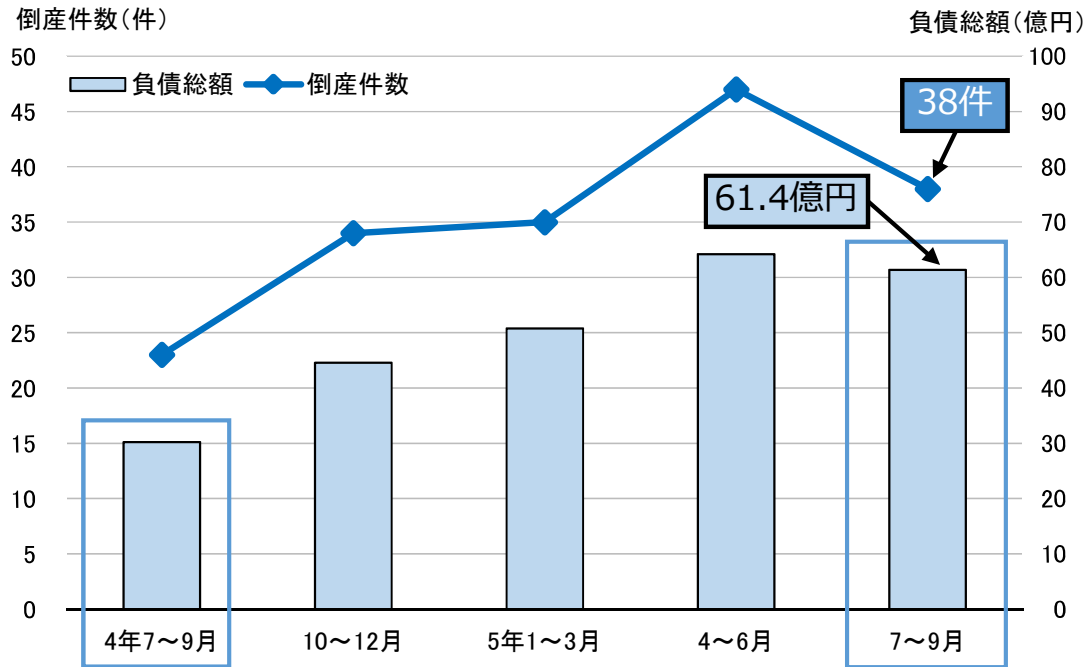
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

# 企業倒産・消費者物価（参考）

## 企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕

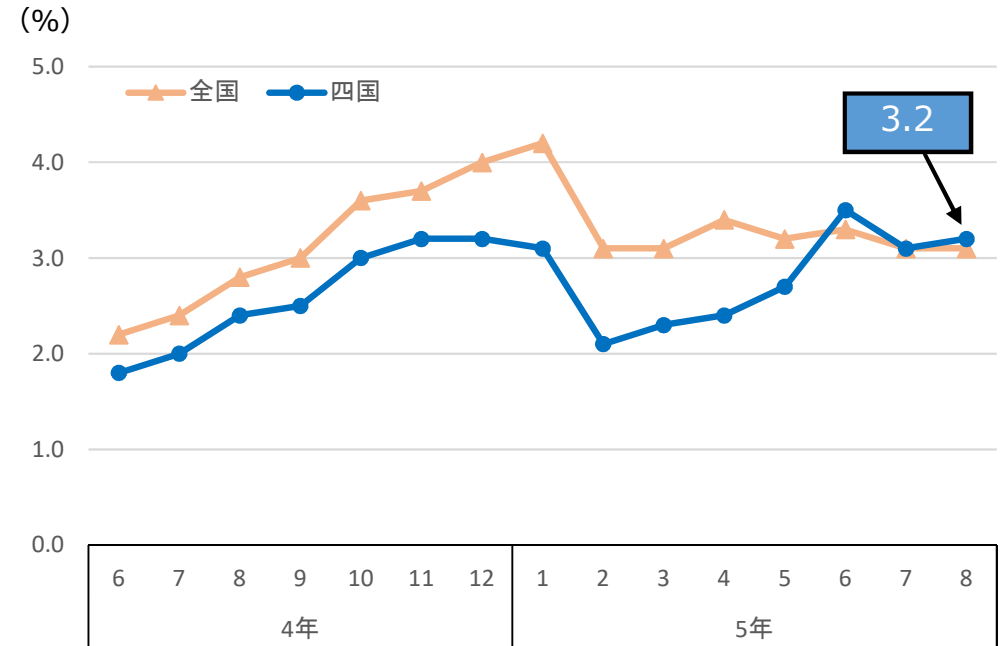


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

## 消費者物価

前年を上回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

